

はじめに

名古屋大学は、一九三九（昭和一四）年に名古屋帝国大学として創立され、今年で七〇周年をむかえました。

その間、初代の渋沢元治総長から二〇〇九年三月に任期満了で退任する平野眞一総長まで、二代の総長および学長が大学の運営にあたりました。本書は、こうした歴代の総長・学長について、その略歴や在任時代の主な事績などを分かりやすくまとめたものです。

また名古屋大学は、医学部の前身をたどっていくと、一八七一（明治四）年の名古屋県仮病院・仮医学校にまで歴史をさかのぼることができ、ここから数えると今年で創基一三八周年となります。本書では、医学部の前身学校のほか、第八高等学校・名古屋高等商業学校・岡崎高等師範学校を含めた前身諸学校の校長や学長についても紹介します。

名古屋大学およびその前身諸学校では、どのような人物が総長や校長になったのでしょうか。また、その在任中はどのような学校運営がなされ、どのようなことが起こったのでしょうか。本書では、その概略を紹介できればと思います。

尚、本書では、敬称を省略させていただくことをあらかじめおことわりしておきます。